

さが 探してみよう! 春を告げる生き物たち

「啓蟄※」って聞いたことはあるかな? 冬ごもりをしていた生き物たちが「春が来た」と目を覚まして出てくる時期という意味で

今年3月6日にあたるよ。どんな生き物が見られるようになるのかな?

※一年を24に分けた季節(二十四節気)のひとつ。ほかにも、「立春」、「春分」などがあるよ。

① 春の生き物を探そう!

道ばたや野原、田んぼなどをよく見てみると、春が来たことを告げる生き物がたくさんいるよ。みんなのまわりでは、どんな生き物が見つかるかな?

② 生き物たちは、どうして春が分かるの?

暖かくなって地面の温度が上がることで、春が来たことが分かるよ。一日の最低気温が5度以上になるころ、多くの動物や植物が活動を始めるんだ。また春になり、夜の長さがだんだん短くなってきたことを感じて、芽をふいたり花をさかせたりする植物もあるよ。

3月6日頃に
見られる生き物

それぞれ赤い線より南(下側)で見られるよ。



気温の上昇と共に、見られる地域(赤い線)は北(上側)へ移動するよ。



出典: 「かこさとし こどもの行事 しぜんと生活 3月のまき」より

③ 季節の観測に、生き物が役立っている?

全国の気象台では、天気や地震などを観測するほかにも、植物の開花や、動物の初見・初鳴きなどを季節ごとに調べて、気象観測に役立っているよ。これを「生物季節観測」というよ。毎年同じ生き物を観測して、過去のデータと比べることで、季節の進み具合や気候のちがいを知ることができるんだ。

生物季節観測は地球温暖化のえいきょうを調べることも役立っているよ。

例えばサクラの開花日は、50年前と比べて約4.2日※早くなっているんだって。



一本の木に5~6輪以上さいたら「開花」、8割以上さいたら「満開」だよ。

サクラ(ソメイヨシノ)
各地の気象台のしき地内や、近くの公園などで、基準にしている木(標本木)を観測して、開花や満開の時期を発表しているよ。

ほかにも、ホタルの初見やアブラゼミの初鳴き、カエルの紅葉など、いろいろな生き物を観測しているよ。

コラム 「三寒四温」って知ってる?

春の気温は変わりやすいのが持ちょうだよ。三日ほど寒い日が続くと、その後四日ほど暖かい日が続き、それがくり返されるので、このようすを「三寒四温」というんだ。また天気は、風がふく、雨がふる、どん天(くもり空)をくり返すので、「ふく・ふる・どん」とも表現されるよ。なんだか、じゅ文みたいでおもしろいな!

啓蟄のころは寒い日も多いけれど、暖かくなるにつれて、見られる生き物が増えていくよ。身近な生き物をよく観察して、季節の移り変わりを感じよう! 一年を通して、季節と生き物のくらしの関わりを観察してもおもしろいよ。

ウグイス

山から人里近くの森ややぶにやって来て過ごすよ。オスもメスも「チャツ・チャツ」と鳴いているんだ。

春の空の明るい時間が12時間半をこえたころから、メスを呼ぶために、オスだけが「ホー・ホー」と鳴くよ。結婚相手が見ついたら山へ帰って巣作りをするよ。

「ホー」は吸う息、「ホーケキョ」ははく息なんだ。

フキノトウ

フキという植物の花のつぼみだよ。早春につぼみが地面から出てきて、やがて白っぽい花をさかせるんだ。



花ががれた後、茎と葉がのびてきて、茎の長さが2m位になるものもあるよ。



愛知県東海市はフキの生産量が日本一!

ツクシ

ツクシの後に生えてくる緑のスギナは、実は同じ植物。土の中でつながっていて、スギナは葉、ツクシは花の部分にあたるよ。ツクシの頭のところから出る緑の粉は胞子という種だよ。



モンシロチョウ

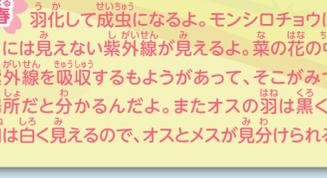
羽化して成虫になるよ。モンシロチョウは人間の目には見えない紫外線が見えるよ。菜の花の中心には紫外線を吸収するようがある場所だと分かるんだよ。またオスの羽は黒く、メスの羽は白く見えるので、オスとメスが見分けられるよ。



ツバメ

フィリピンやマレーシアなどの暖かい国で過ごしているよ。

日本へ移動してくるよ。太陽の位置を目印に、一日で30~500kmのきよりを飛び渡り鳥なんだ。「ツバメが低く飛ぶと雨が降る」といわれているよ。



トンサマガエル

土や道の中で冬眠するよ。

暖かくなると活動を始め、メスは約1,800から3,000個も卵をうむよ。



鳴くのはオスなんだよ。結婚相手になるメスと呼んだり、なわばりを守ったりするために鳴くよ。